

コスモス

福田にグループレープホーム 大和市南部で初

(株)コスモス(横浜市青葉区、須藤慶子社長)は五月一日、大和市福田一八四二に痴ほう対応型共同生活事業所「グループホーム樺」を開設した。この種の施設はこれまで市北部にはあったが、南部では初めてのもので、地域福祉の向上にひと役買う存在として注目を集めている。

小型ペットと同居も可

同所の地主でホーム長の関水美和子氏が「地域の介護福祉の向上につながれば」と開設したもので、「周辺の環境との調和を考え、緑を基調にした」(須藤社長)という。延べ床面積五百三十六・五三平方メートルの鉄骨二階建て。全室個室でユニットト十八人を定員にしており、一部屋の広さは約十

二平方メートル。各ユニットにはリビング、調理室、四つのトイレ、談話室、浴室があるほか、プロジェクターや床暖房を完備している。また、花や緑の豊かな地域性を踏まえ、各部屋の入り口にはあじさい、バラ、福寿草といった植物の写真を飾り、外には植木を植えた。介護福祉士、看護師な

どの資格を持ったスタッフが二十四時間体制(昼間三人、夜間一人)で介護にあたり、中央林間病院を初めとする医療機関との連携で、病時の対応にも気を配った。また、小型の動物との同居も可能(要相談)で、「ペットの持つ癒しの効果は痴ほうスピードを鈍化させる」と関水ホーム長。



オープンしたグループホーム「樺」

料金は家賃、食費、光熱費などを含めてひと月十三万三千二百円。これ

に要介護度に準じた利用者の一割負担額などがかかる。同社長は「周辺の自治会、老人会、こども会などとも協力的体制を築き、利用者、近隣の住民、介護者が同じ目線で時間を共有できるような場所にしていきたい」と話している。